▼ネイリンカプセル　［内］

【重要度】　【一般製剤名】ホスラブコナゾール L-リシンエタノール付加物　Fosravuconazole L-lysine Ethanolate（F-RVCZ）　【分類】抗真菌薬［爪白癬治療薬］
【単位】▼100mg/cap
【常用量】100mg/日［12 週間］
■直接鏡検又は培養等に基づき爪白癬であると確定診断された患者に使用
■投与終了後は，爪の伸長期間を考慮して経過観察を行う
【用法】1 日 1 回■食事に関係なく服用可
【透析患者への投与方法】常用量（1）
【保存期 CKD 患者への投与方法】常用量（1）
【特徴】爪白癬に適用されるトリアゾール系抗真菌薬で，水溶性及び生物学的利用率を高めたプロドラッグ（活性体ラブコナゾール）．真菌細胞の膜成分であるエルゴステロール生合成を阻害する．CYP3A4 阻害作用が比較的軽度で併用禁忌薬がない．
【主な副作用・毒性】肝機能検査値異常（γ-GT，AST，ALT，ALP 上昇），消化器症状，口角口唇炎，血球変化，膀胱炎，高尿酸血症，円形脱毛症，皮脂欠乏性湿疹，痒疹など
【安全性に関する情報】高頻度の有害事象は頭痛［P1/2］（Gupta AK, et al: J Eur Acad Dermatol Venereol 2005 PMID: 15987289）
【吸収】食事により tmax 延長，Cmax 低下するが，AUC は変わらない（1）
【F】
【tmax】2.5～3hr（1）
【代謝】経口投与後速やかに吸収されアルカリホスファターゼにより活性本体であるラブコナゾールに変換（1）ラブコナゾールはグルクロン酸抱合体，水酸化体のグルクロン酸抱合体に代謝（1）
【排泄】ほとんど尿中に排泄されない［尿中排泄率 0.0621%］（1）
【CL】6.8～7.8 mL/min［iv］（1）
【t1/2】71～101hr（1）
【蛋白結合率】98.5～99%（1）
【Vd】Vss＝100～216L/man（1）
【MW】739.73［付加体］
【透析性】資料なし（1）除去されないと思われる（5）
【薬物動態】線形動態（1）趾爪中薬物濃度は 12 週間の投薬終了後も 20 週まで上昇する．指爪中薬物濃度は 8～12 週後に最大となる（1）
【相互作用】CYP3A を中程度阻害［IR 0.73］（1）ワルファリン，シンバスタチン，ミダゾラムなどの作用増強の可能性（1）CYP3A4 以外への代謝酵素・トランスポータへの影響はマイナー（Ishii Y, et al: Clin Transl Sci 2018 PMID: 29768713）
【肝障害患者への投与方法】
【小児 CKD 患者における報告】小児への安全性未確立（1）
【妊婦・授乳婦への投薬】妊婦，授乳婦禁忌（1）
【主な臨床報告】100mg/日 12 週で爪白癬に有用性確認（Watanabe S, et al: J Dermatol 2018 PMID: 30156314）
C. parapsilosis による真菌性メラニン症に有効であった症例（Noguchi H, et al: J Dermatol 2019 PMID: 31342551）
12 週間の治療で爪白線に有効（Noguchi H, et al: J Dermatol 2021 PMID: 33099769）
爪白癬や皮膚真菌症に対し，テルビナフィンよりも有効性が高い可能性（Gupta AK, et al: Int J Dermatol 2022 PMID: 34882787）
【更新日】20250220

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。